

コンプライアンス

▶ (サステナビリティレポート2025) コンプライアンス P.90～94

当社グループは、末永く社会から信頼され、健全な企業活動を継続していくため、グループ会社共通の「コンプライアンス憲章」に基づき、法令遵守はもとより、社会規範や企業倫理を遵守するための取り組みを推進しています。

また、「コンプライアンス行動指針」および「東京建物グループコンプライアンスマニュアル」を制定するとともに、コンプライアンスに関する啓発・研修などを通じて、従業員が常に高いコンプライアンス意識を持ち続けられる組織・教育体制の構築に努めています。

グループコンプライアンス憲章

私たちは、以下のコンプライアンス憲章に基づき、コンプライアンスに徹した企業活動を遂行していきます。

- 法令等を遵守し、公正で健全な企業活動を行います。
- お客様の立場で考え、誠実に行動します。
- 企業活動を通じて、より良い社会の実現に貢献します。
- お互いの人格や価値観を尊重し、働きやすい職場環境を確保します。

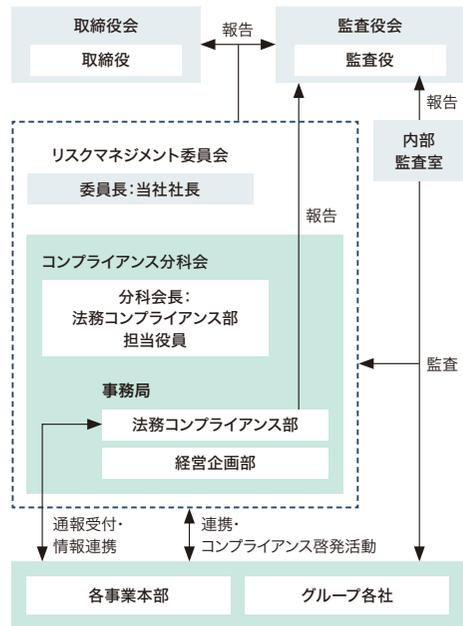
(2009年6月制定)

推進体制

当社グループは、グループのリスク管理およびコンプライアンスを統括する「リスクマネジメント委員会」を、さらにその下部組織として、コンプライアンス施策に関する審議や進捗状況のモニタリング、コンプライアンスリスクへの対応などを行っています。

また、グループ全体でのコンプライアンス機能の向上を目指し、当社およびグループ会社のコンプライアンス担当者で構成するコンプライアンス情報連絡会を定期的で開催することにより、各社のコンプライアンス施策に関する取り組み状況の共有や当社からグループ各社への取り組み支援を行っています。加えて、当社はグループ会社のコンプライアンス関連業務を支援・指導するとともに、当社が中心となってグループ会社間での連携を促しています。

コンプライアンス推進体制図



コンプライアンスへの取り組み

コンプライアンス研修

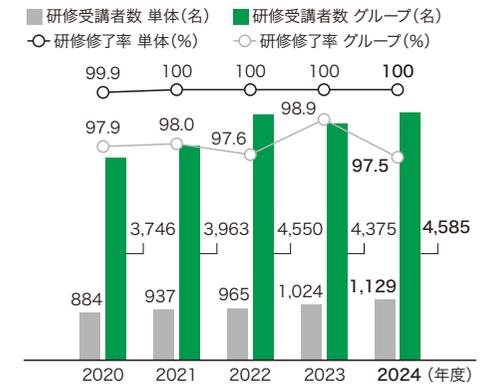
当社グループでは、毎年e-ラーニングによるコンプライアンス研修を実施しています。対象は、従業員区分・職制・雇用形態にかかわらず、従業員すべてとしており、2024年度は、修了率は東京建物が100%、グループ全体が97.5%でした。

研修の内容については「グループ共通科目」に加え「各社が強化のために実施する独自科目」を設けることで、従業員が常に高いコンプライアンス意識を持ち続けられるよう努めています。

2024年度コンプライアンス研修 (e-ラーニング) 一覧

グループ共通科目	● コンプライアンス行動指針(差別・ハラスメントの禁止、贈収賄防止を含む)
	● 秘密情報管理
	● インサイダー取引防止
	● 個人情報
	● マイナンバー
	● 宅地建物取引業法
	● 犯罪収益移転防止法
	● 障害者差別解消法
	● 反社会的勢力の排除
	● 利害関係者との取引における留意事項
● コンプライアンスマネジメント研修	
各社が強化のために実施する独自科目	● 反社会的勢力の排除
	● 利害関係者との取引における留意事項
	● コンプライアンスマネジメント研修

コンプライアンス研修※ (e-ラーニング:コンプライアンス行動指針)



ヘルプラインの設置とコンプライアンス違反への対応

当社グループは、各社ごとに設置している社内窓口に加えて、グループ共通で利用が可能な「東京建物グループヘルプライン」(外部窓口)を設置し、法令違反や贈収賄行為・不正行為・人権侵害・労務問題・ハラスメントなどのコンプライアンス違反の未然防止・早期解決を企図し、内部告発・通報・相談を受け付けています。通報者のプライバシーは保護され、対応部署における調査・事実確認などの結果、コンプライアンスに違反する行為に対しては、是正措置および再発防止措置を講じるなど、迅速な対応を行っています。リスクマネジメント委員会(コンプライアンス分科会)は、すべての内部告発・通報・相談などのモニタリングを行っています。

ヘルプラインへの通報・相談件数 (2024年度)

